

令和5年度第1回広島県県営林管理経営評価委員会における委員の質問・意見（概要）

- 1 日 時 令和5年8月2日（水） 14時00分～15時30分
- 2 場 所 広島YMCA国際文化センター本館407号室
- 3 議 案 第1号議案：令和4年度県営林年度実施計画の達成状況について
第1号議案について審議の結果、令和4年度県営林年度実施計画の達成状況については、原案のとおり承認された。
- 4 委員からの主な質問・意見 （○質問 ●回答 ◎意見）

第1号議案：令和4年度県営林年度実施計画の達成状況について

- 公益機能を発揮させるという観点からすると、一般的に間伐や保育を適切に行うことが大事であり、（事業実施面積が）計画通り進んでいないことに県民が不安を抱くのではないのでしょうか。
- 特に利用間伐においては、事業地・事業体の確保が年々難しくなり、5か年の中期計画（の候補地のリストアップ）に課題があると考えています。
現況調査で成立本数等を、全域にわたって把握することによって、本当に必要なところがリストアップ出来るように、次の中期計画で取り組む考えです。
- ◎ 木材販売量が増えたことや、収支の改善があったことは、一つの大きな成果として挙げられるが、課題が残されていることも、触れておくことが大事であると感じています。
- ◎ 事業地の確保や事業体の確保の課題の対策としては、できるだけ早めに、事業地の確保をすることになりますが、（例えば）前年度に翌年度の確保を完了しても、そこから発注をかけていくと、影響が後々に出てくるかと思います。
そのことの対策について、今後、（中期計画の方で）議論していただきたいです。
- 資料2の償還金等の支払状況の「大規模林道賦課金は令和4年度に繰上納付で支払った」について、これは、利息減を狙った繰上という理解で良いのでしょうか。
- 令和3年度にウッドショックの関係で木材価格が上がった（収益が増加した）こともあり、翌年度の予算要求において、繰上納付をすることで利息相当分を（23万円程度）圧縮できるか相手方と調整し、繰上納付処理をしました。
- 早期着手が可能な補助事業について、少し具体的な内容について説明してください。
- 補正予算を活用すれば、次の年度の早い段階から事業着手することができますので、その様な補助事業を活用しています。
- ◎ （国有林との）施業実施協定を締結していますが、今年度末をもって、この協定が契約期限になるところがありますので、（協定の延長という形で）引き続き連携して、お互いにプラスになるように取り組みたいです。
- ◎ 近年の、ゲリラ豪雨が降ることを考えると、以前にも増して、崩れにくい作業道や、水や泥の出にくい作業道を適切に作っていくということが、今まで以上に求められるのではないのでしょうか。

- ◎ 作業道の作設については、十分に、土砂災害や林地への影響を抑えるような配慮が必要であり、発注をかける時に、想定する作業システムとして無理が無いように、的確な判断をすることが重要だと思います。

無理をして実施すると、（土砂災害等の）弊害や、所有者の理解が得にくいといったことにも繋がるので、より丁寧に事業を進めなければいけないと考えています。

- 販売先別販売実績で、3社の木材集出荷施設に集約したことは、ある程度安定した形で、この体制ができ上がったと思うのですが、現在の販売体制と、市場等に販売することを比較すると、販売額としては高値がついていると評価して良いのでしょうか。

- 集出荷施設の価格の根拠は、市場の平均価格といったものを参考にしています。

原木市場は市毎の売り上げになりますので、例えばウッドショックのような異常な高値がつく時は、原木市場の方が高い場合があります。

しかし、市場では不落になって売れない場合がある一方、集出荷施設への販売は、ほぼ全量買い上げてくれますので、販売リスクが少ないメリットがあります。

また、集出荷施設は、提示される価格を見ながら、事業体に採材の指示をすることにより、値段の高い有利販売ができるメリットもあります。

そのため、現在の集出荷施設の協定販売の方が計算できますので、経営上は有利というより無難であると評価しています。

- ◎ （利用間伐の生産性について）事業地の特性・特徴をもう少し丁寧にリスト化し、伐倒からはい積みまでの生産性の数値との関係を整理すると、何かしら関係性が出てくるかもしれません。

- （利用間伐の請負に）新規参入された事業体について、参入してきた経緯を教えてください。

- 元々、大企業の社有林で作業されていましたが、ちょうど仕事がない時期があり、財団が依頼して、参入していただいたという経緯があります。

- ◎ （Jクレジットを）買う側にすると1万円/t-CO₂を超えるような（相場より高い）クレジットを買うことになるので、森林のクレジットを買うことの意味をしっかりと伝えることが大事だと思います。

ある程度ストーリー性を持って（買う側が）納得していただくと、企業からすると、それを株主の皆さんに説明できることになりますので、（少し高い森林のクレジットを買う意味について）買う側から、広げていただくことが望ましいと思います。